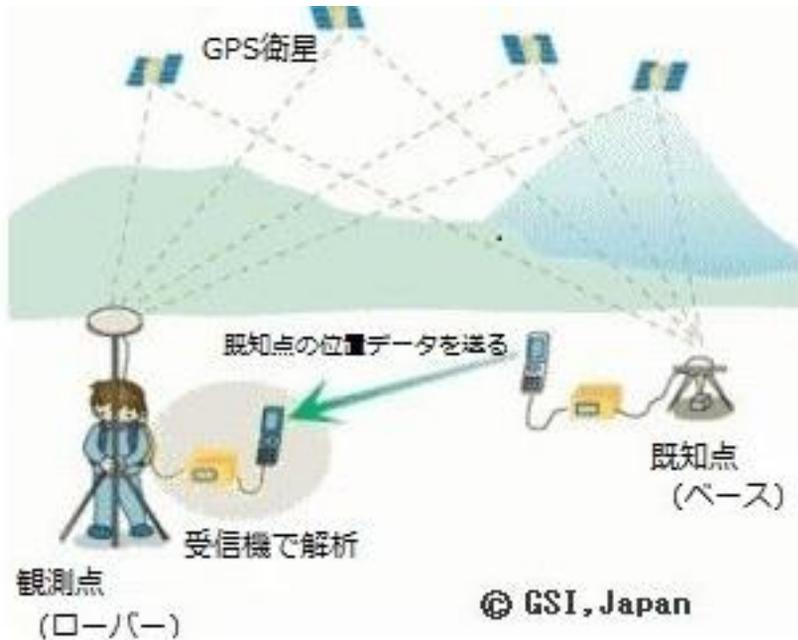


RTK測位とは



理論値で、測量する点から基準局までの距離が1km離れるごとに1mmの誤差が生じます。

県内の森林組合事務所に基準局を設置することで、アルプス等山岳地域を除いて県内の全エリアで基準局からの距離を概ね20km以内に含めることができます。

国土地理院HPより

「RTK」とは『リアルタイムキネマティック』の略で、地上に設置した「基準局」からの位置情報データによって、高い精度の測位を実現する技術のことです。GNSS（全球測位衛星システム）を使用した測量方法のひとつで、通常のGPSのみの場合、位置情報データは**2メートル前後の誤差**となりますが、RTKを組み合わせることで、**数センチ内の誤差**に抑えることが可能になります。

現在、長野県の森林環境保全直接支援事業において、GNSSによる測量成果を用いた補助金申請が可能となっていますが、基準局を設置してRTK測位を行うことで、測量精度の向上と測量結果の再現性が担保できます。

また、これまでGPSのみでは難しいとされていた、**センチメートル単位での高精度な位置情報データ**を活用することができるため、林内作業の自動化等将来を見据えた活用が期待できます。